

令和 6 年度 上 半 期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	長森児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市野一色4丁目11番4号		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		
料金制	☐ 使用料 ☐ 利用料金 ☒ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,158,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造平屋建 ◇敷地面積:1,297.26㎡ ◇延床面積:440.25㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室兼集会室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場		

●利用状況

		R6上半期	R5下半期	R5上半期	R4下半期	R4上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	14,292	13,456	13,319	8,984	9,186
	移動児童館利用者数	124	366	248	283	200
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※4(2)	※10(4)	※6(3)	※10(9)	※7(5)
	開館日数(単位:日)	154	151	155	151	155

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①適正に実施している。 ②職員3人(所長、常勤職員2人)(保育士資格を有する2名幼稚園教諭、教員免許を有する1人の内1級児童厚生員1名、2級児童厚生員2名、レクリエーション中級インストラクター資格1名) ③エリア5校区(長森北・南・西・東・日野)小学校に依頼をし、データ配信をすることで、対象全児童(2,331人)が貸与されているタブレット端末にて閲覧できます。 ・野一色公園の掲示板にもイベントの案内の掲示をお願いしています。 ・澤田新聞店(中日新聞)の情報誌「長森かわら版」に「岐阜東高校吹奏楽部の演奏会」について5月号に掲載されました。 ・ホームページ(上半期12回更新)・インスタグラム(連動してフェイスブックとともに上半期98回内動画6回投稿)にて情報発信をしました。 ・岐阜市子育て支援アプリ「母子モ」を使い行事のお知らせをしました。(3回) ・地域の方向けに児童センターの紹介とボランティア募集のチラシ・行事のお知らせを5公民館に配架、掲示をお願いしました。(4回) ④ご意見箱を常時設置し、利用者からのご意見・ご要望をいただける体制としています。また苦情解決の仕組み・苦情の申し出先を館内掲示(玄関・ホールにて)することで苦情に対して適切に対応できる体制としています。 ・児童・保護者を対象にアンケートを1回実施しました。アンケートの結果(各100名分)は館内に掲示しました。 ・小学生対象に行事後に独自のアンケートを(上半期3回)行い、子供たちの今の気持ちを聞くことで年間を通し要望を把握して取り入れました。(カップスタック大会、塗り絵の種類追加など) ⑤仕様書、事業計画書に基づき事業を実施しました。
自主事業 提案事業		

施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①管理点検マニュアルに基づき日常点検・消防用設備の点検・遊具設備及び建物点検等適切に実施しました。 ②施設の清掃は職員による日常清掃(当番制)と就労継続支援事業所による週2回の管内清掃を実施。年3回の業者に依頼してのワックス掛け等(上半期1回)を実施しました。 玩具等は事務室での貸出物品は、毎回の消毒に心掛け、それ以外の玩具については使用頻度を見ながら不定期ではあるが、消毒をして安心して使って頂けるようにしました。 ③未使用の部屋の電気・エアコン等スイッチを切り適切な温度設定、フィルター清掃などを行い節電に努めました。 利用者からおもちゃの寄付をいただき活用すること(4回)やおもちゃ病院を活用しておもちゃの修理をして使うことで、物を大切にする心や壊れてもすぐに捨てない。また、廃材募集のポスター掲示、声掛けをして集まったペットボトル及び牛乳パック・トイレペーパーの芯・サランラップの芯を活用した制作をすることで、経費、環境に配慮した施設運営に心掛けました。 ④月1回の職員による施設の安全点検・遊具の点検・AED器具の機能確認、毎日の消毒、清掃を行い、遊具設備の維持管理に努めました。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①緊急性のあるものは、岐阜市社会福祉事業団事務局及び岐阜市に即時報告して判断を仰ぎました。(防災盤故障・ホールにエアコン希望・おもちゃ図書館エアコン故障) ②建物等大規模修繕は、岐阜市社会福祉事業団を通して岐阜市へ要望を提出しました。(床・畳・トイレの手洗い場の水漏れ・ホールの床・ホールのエアコン)
危機管理 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規程、災害マニュアル、児童福祉法等関係法令を遵守し適切に実施しました。 ①個人情報が記載された用紙は、使用後は全てシュレッダ処理を行い個人情報の漏洩防止を徹底しました。 ②災害や事故が発生した場合には、岐阜社会福祉事業団並びに岐阜市へ迅速に報告する体制を構築しました。また上半期1回消防訓練を実施(7月)、非常用備品の確認も同時に行い期限の確認と不足品の補充も実施しました。マニュアルに沿ったの適切な対応及び消防訓練)を実施し警察・消防への適切な対応の徹底と警備会社との連携をしています。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 期間: 令和6年6月28日～令和6年8月8日 回答者数: 100人 <小・中・高校生用アンケート> 期間: 令和6年7月22日～令和6年8月15日 回答者数: 100人(小学: 1年4人、2年9人、3年8人、4年21人、5年14人、6年29人) (中学: 1年5人、2年5人、3年5人)(高校: 1年0人、2年0人、3年0人)
	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 【校区】 長森東(31人)、長森北(15人)、長森西(14人)、長森南(13人)、日野(7人)、厚見(4人)、梅林(3人)、加納西(3人)、その他市内(4人)、その他市外(6人) 【年齢】 10代(0%)、20代(10%)、30代(65%)、40代(13%)、50代以上(12%) 【利用頻度】 初めて(3%)、ほぼ毎日(2%)、週2～3回(8%)、週1回(21%)、2週に1回(28%)、月1回(24%)、その他(14%) 【来館相手】 子(84%)、孫(9%)、友人(3%)、その他(4%) 【子・孫の年齢】 0歳(13%)、1歳(20%)、2歳(25%)、3歳以上(25%)、小学生(17%) 【来館方法】 徒歩(2%)、自転車(8%)、自家用車(90%)、公共交通機関(0%) 【何で知った】 ホームページ(32%)、広報誌・チラシ(2%)、学校(4%)、保育所・幼稚園(8%)、知人・友人(22%)、ぎふ子育て応援アプリ(4%)、ブログ・SNS等(11%)、その他(17%)

利用者アンケートの実施結果	【評価】 (あいさつ) 満足(87%)、ほぼ満足(8%)、普通(4%)、やや不満(1%)、不満(0%) (言葉づかい) 満足(87%)、ほぼ満足(9%)、普通(4%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用者対応) 満足(84%)、ほぼ満足(10%)、普通(6%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用しやすさ) 満足(79%)、ほぼ満足(12%)、普通(7%)、やや不満(2%)、不満(0%) (整理整頓) 満足(83%)、ほぼ満足(12%)、普通(5%)、やや不満(0%)、不満(0%) (清潔感) 満足(76%)、ほぼ満足(15%)、普通(8%)、やや不満(1%)、不満(0%) (換気) 満足(83%)、ほぼ満足(12%)、普通(5%)、やや不満(0%)、不満(0%) <小・中・高校生用アンケート> 【学校名】 長森北(49人)、長森西(16人)、長森中(15人)、長森南(8人)、長森東(5人)、白山小(2人)、その他市内(1人)、その他市外(4人) 【学年】 小学: 1年(4%)、2年(9%)、3年(8%)、4年(21%)、5年(14%)、6年(29%) 中学: 1年(5%)、2年(5%)、3年(5%) 【利用頻度】 初めて(7%)、毎日(5%)、週4・5回(6%)、週2・3回(20%)、週1回(19%)、その他(43%) 【来館相手】 ひとり(10%)、友人(57%)、兄弟姉妹(11%)、父母(20%)、祖父母(2%)、親戚(0%) 【来館方法】 徒歩(13%)、自転車(55%)、自家用車(31%)、バス・電車(0%)、その他(0%)、未記入(1%) 【好きな遊び】 ドッジボール(25%)、卓球(10%)、ぬりえ(12%)、ボードゲーム(9%)、カロム(8%)、パズル(6%)、サッカーゲーム(5%)、マンカラ(5%)、その他(20%)
利用者からの要望・苦情と対応・改善	<保護者> ・ホールにエアコンをつけてほしいです。 →市へ要望として伝えます。 ・隣の保育園に通っています。保育園後は駐車場の関係で車で来た場合は利用ができません。保育園も含め駐車場をもう少しけんどうしてもらえると、嬉しいです。 →駐車場の拡張・増設が難しい現状です。ご不便をおかけして申し訳ありません。市へ要望として伝えます。 ・おもちゃの電池が入っていないかったり、古かったりするので(色がハゲハゲだったり)おもちゃを新しくしてもよいのではと思います。 →電池を使用せずに利用していただくものもありますが、電池が切れているおもちゃがありましたら職員にお声がけいただけると助かります。修理可能なものは修理し、古いおもちゃは順に替えていきたいと思います。 ・始まりのあいさつや手遊びなどがなくてイベントのメリハリに欠ける →登録制幼児クラブに限らず、全てのイベントにおいて進行内容を見直し、楽しんでいただけるよう努めます。 ・毎日、各務原や一宮の児童センターのように歌や遊びの時間があると嬉しい。 →毎日難しいかもしれませんが、できる時間に取り入れていけるように努力します。 ・直接来ないと申し込みができないのが非常に不便 →一部の行事・イベントではありますが、お電話やLINEからもお申込みいただけるようになりました。今後とも来館せずにお申込みができるものを増やしていきたいと思います。 ・4月のコーナー遊びに上の子ども連れて参加した時に、その日初めてあった職員さんに恐怖を感じました。2才の子どもがすべり台をすべろうとした時、前の子がなかなかどかずにうちの子がすべりはじめてしまいました。普通なら下にいる子をどかすか(親御さんの姿は見えませんでした)うちの子の体を持って止めてくだされば良いと思うのですが、先生は滑っている途中のうちの子のフードをつかんで止めました。首が締めりかかっていたと思います。こわいです。他の先生方は大好きだし、児童館も大好きですがパオパオクラブでも子どもたちの個性を認めず先生のペースで進められるし…。まだ2学期・3学期とパオパオクラブ等でお世話になると思うので、楽しく安全に過ごせたら良いなと思います。 →今回、危険を回避するためにとっさの判断でお子様の体を腕で止めたのですが、フードをつかんで止めたように見える静止方法となり、ご心配をおかけしました。 - 子どもを制止する際には、とっさの場合であっても子どもにも危険がないように安全に静止することとしていますが、改めて職員間で危険がないように徹底してまいります。 - また、幼児クラブの進め方についても、子どものペースを尊重し、1人ひとりを大切にする気持ちを持って進めさせていただきまします。 - これからも、お子様はもちろん、保護者の皆様にも安心・安全に楽しんでいただける居場所となるよう努めてまいりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。 <児童> ・おまつりを増やしてほしい →検討していきます。11月にお祭り「多世代ハッピーフェスタ」を開催します。ぜひ参加してください。 ・いくとげんきになり、たのしい →ありがとうございます。落ち込んだ時など、発散したい時は一緒に思いっきり遊びましょう！ ・走らない →部屋やホールで走って遊ぶのは危険なので、遊戯室で思いっきり遊んでください。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	S	S	S
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	S	S	S
		区分評価				S
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業（行事）等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	S	S	S
		⑤利用者に対するサービス向上の方策（窓口対応、プロモーション、設備の整備など）	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	A	A
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑦施設の効用（設置目的）を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	A	A	A
		区分評価				S
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施（リサイクルやリユース、節水・節電など）	S	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ（採用予定者も含む）の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員（施設が児童センターの場合は体育指導員）を1人以上配置（このうち最低1人は常勤職員とすること）	A	A	A
		⑪スタッフ（採用予定者も含む）の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ（採用予定者も含む）の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	SS	S	S
		⑬リスクへの対応方策（利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど）	・危機管理（リスク）や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	S	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成（一部業務の再委託先）、地元住民の活用（雇用又はボランティア等）	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加（地元行事への参加）又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み に対する評価	□利用者アンケートの実施(公平性・透明性①) 保護者用(100名) 幼児クラブの参加者だけでなく、一般に利用されている方や、小学生に付き添ってみている方からもとることで年齢も幅広い層からの様々なご意見ご要望をいただくことができました。「孫たちも職員の方と仲良くさせて頂いているのでありがたいです」「おもちゃを違う部屋への持ち出しOKなのも助かります」「イベントの様子などインスタに載せていただいているのは、次のイベントの参考になり有難いです」と高評価をしていただき職員も励みになっています。また中にはクラブでの要望や、おもちゃについてなども細かく書いていただき今後の参考にさせて頂き、改善できることなど、見直していきたいと思えます。 小学生用(100名) 行事に参加した児童や、自由来館した子の児童センターに対して思うことを素直に書いていただきました。 児童館の好きなところ・行きたいと思った理由に「夏涼しい」「楽しいから」「暇だった」「友だちに誘われて」「友だちと約束してなくても誰か一人はいる」「一人でも遊べる」「ここに来れば誰かがいるから楽しい」「いろいろな遊びができる」「行く元気になれる」など、欲しいおもちゃ・やってほしい遊びはそれぞれ考えていろいろ書いてくれました。それらを参考に購入リストに入れたり、やってみたい行事などを取り入れるようにしています。(ウノ・犯人は踊るのカードゲーム・レジン工作実施) 小学生に独自のアンケート(3回) 行事の参加後に「今興味があること」「やって欲しい行事」を書いていただきました。今その時の子どもたちの声を大切に、行事などに活かしています。(カップスタッキング大会・塗り絵の種類を増やす・ルービックキューブ購入)自分の希望がなかった時、子供たちはとても喜んでくれます。そんな一人ひとりの声を聞いて活かすようにしています。 □広範で適切な情報提供、広報活動の実施(公平性・透明性2)(効果性⑥) ・主任児童委員主催の情報交流に参加(再掲②④) 長森・日野地域の保育所・幼稚園・主任児童委員・担当保健師との情報交流会が4年ぶりに開催されました。そこで最近の乳幼児の様子、親からの相談など各施設の参加者からの話を聞くことができました。保健師からは岐阜市の出生率地区別の人口割合など今後の支援体制に参考になることが聞けました。児童センターからも、お話をさせていただく中でボランティアの募集についてのチラシも一緒に配布し、地域の方への広報を呼びかけました。 後日、チラシを見たとボランティア希望の方が引き続き託児、見守りに来ていただける方があります。又、交流会で同席した幼稚園の先生に児童センターで、未就園児対象に遊びの提供して頂き交流しました。(上半期2回) ・公式ラインの活用(再掲②③⑤) 登録制の幼児クラブの参加者や行事の申込者(保護者)を対象に、長森児童センターの公式ラインの登録を呼びかけました。(登録者と児童センターの1対1のやり取りとなるため、他の登録者へ情報漏えいすることはありません)登録することで、持ち物の連絡や写真の送信をスムーズに行うことができました。保護者からはクラブの欠席連絡や、今日参加したクラブの感想など書いて頂ける方もあり大変好評です。一般行事で登録された方も、様々な問い合わせ等に気軽にラインを活用していただいています。(おもちゃ病院について、おもちゃの寄付について、行事についてなど)また今年度は、講師の方やボランティアの方にも登録をしていただくことで連絡や打ち合わせなどを行い文章がラインに残ることで職員間での情報共有も効率よくできることでさらに活用する頻度も増えました。 ・Instagramによる広報宣伝活動の充実(再掲②⑥) 昨年度からタブレット端末を活用したInstagramを導入したことにより、多様な手段で幅広い年齢層に、スピーディーに情報を提供できることとなりました。上半期には新たなアプリも導入し動画や音楽を活用。より親しみやすいInstagramの提供に努めました。(上半期投稿回数98回、内動画6件、487のいいね、フォロワー230人) ・ホームページでの情報提供 ホームページの更新、最新情報を提供しました。(上半期更新回数12回) ・全児童館・児童センターの案内をおたよりに掲載(再掲②⑥) 毎月発行している乳幼児と保護者向けおたよりの裏面に、岐阜市内すべての児童館・児童センターの所在地を地図上で記載しました。これにより、普段利用している児童館以外の児童館・センターを知っていただくきっかけとなりました。 ・「ツナグテ」利用者へのPR(再掲②⑥) 毎月発行するおたよりに「ツナグテ」のチラシ受けに置いていただき、「ツナグテ」の利用者にも長森児童センターのPRを行うことができました。 ・岐阜市子育てアプリの活用 幅広い地域の方にも行事に参加していただけるように活用し参加を促しました。(ミニ講演「子育て家事」・骨密度測定・骨盤体操) ・おたよりのデータ配信(再掲②⑤) 毎月発行している小学生向けおたより「あそぼつけ」を、担当エリア小学校(長森北・長森南・長森西・長森東・日野)に依頼をして学校よりTeamsにて各家庭に配信をしていただき担当校区全ての児童(2,331人対象)が、貸与されたタブレット端末で長森児童センターの情報をいつでも閲覧できます。 ・公民館等にイベントのチラシを配架・掲示依頼 地域の方にも参加していただける行事の案内「歌って脳トレ」「骨密度測定」「ボランティアの募集」「フリーマーケット」を担当エリア5公民館(長森北・長森南・長森西・長森東・日野)長森コミュニティーセンターにお願いしました。そのチラシを見て行事に参加していただけた方がありました。 ・地域の情報紙に掲載 澤田新聞店(中日新聞)の情報誌「ながもりかわら版」に児童センターで開催された岐阜東高校の吹奏楽部(昨年3月)についての記事が5月号に掲載されました。 □業務改善や工夫(効果性③⑤) ・行事カード 行事に参加したらカードにスタンプが押せるようになりました。そうすることでより行事に関心を持ち積極的に参加をしてくれる子が増えました。 ・図書の本の仕切り 書棚にゆとりを持たせ、50音順の仕切り板を設置しました。そうしたところ本を決まった場所に戻せる子が増えました。 ・夏祭り分散開催 昨年度の夏祭りの時駐車場がいっぱいになり、センター前が渋滞してしまったので、回避するため幼児を2日間午前午後の計4回、小学生を3日間午前午後計6回で各20名に分散したことで駐車場、駐輪場が大きく混雑することなく終えることができました。 ・公式ラインの拡大 去年より開設している公式ラインをボランティアや継続でお願いしている講師の方にも登録を呼びかけました。ラインで会話することで文字として残り打ち合わせや連絡がスムーズにできています。職員間での情報共有も効率よくできることで更に公式ラインを活用する頻度も増えました。
--------------------------	---

今期の取組み
に対する評価

・おもちゃのシール
おもちゃの定位置を知らせる写真が小さいこと、おもちゃの入れ替え等で写真がないものもあったので、すべて写真を大きく撮り直して貼りました。元の位置に戻る率が高くなりました。

・ホールでの乗り物を1方通行に
ホールで幼児の乗り物による接触が多く出てきたので、床に一方通行となるような矢印と図書室の入り口に横断歩道を貼ることで保護者の方も安全運転するようにお子さんに声をかけていただけようになりました

・パンフレットを見やすく
玄関に他施設のパンフレットが大量に設置してあるが、雑然としていてあまり見られていなかったので各部屋に対象となる内容のチラシを掲示し残りは事務室で管理するようにしました。以前より見ていただけるようになりました。

・公式ラインの活用(再掲②③⑤)
前年度より公式ラインの運用を始めています。登録制クラブの方や一般行事(大人対象)の方にも拡大しています(登録者との1対1のやり取りとなるため、他の登録者へ情報漏えいすることはありません)ラインが使えることで、クラブ員からは欠席連絡、センターからは持ち物の連絡や個人写真の送信、中にはその日のクラブの感想をラインしていただける方もあります。今期はボランティアや継続して来ていただける講師の方にも登録をして頂き打ち合わせや連絡をしました。文章がラインに残ることで職員間の情報共有も効率よくできる事で更に公式ラインを活用する頻度も増えました。

・サイエンスショーの開催
元科学館館長によるサイエンスショーを今年も開催しました。今年も新たな出し物を工夫し、様々な実験をするたびに子どもたちが驚き・どよめき、科学に対する関心が高まりました。

□新規事業(行事)等の実施

・「子どもスタッフ」の結成(再掲③)
普段からボランティアをやりたいという子が一定数いるので、リーダー的な存在になるように、年間登録の「子どもスタッフ」を募集しました。毎月2回の活動日を設け、行事やお祭りの内容検討、その準備などを中心に子どもたちが主体となり自発的に活動できる場を設けました。お祭り時にはその子たちをバランスよく配置し、その上で一般に募集したボランティアを補充することでスムーズにコーナー遊びが展開されました。

・ボランティアによる英語教室(ロビー先生のEnjoy English)(再掲③⑭)
前年度より計画を進めていた地域の方に紹介していただいた外国人ボランティアによる英語教室を毎月1回1時間(8月は休み9月は体調不良で上半期4回)で行いました。
紹介していただけた方が地域の方を数人誘い一緒に教室に参加しお手伝いしていただける日もあります。参加する小学生の保護者も仲間に入り、ゲーム形式が多く子どもたちと同じように楽しむ姿が見られ回を重ねるごとに保護者の方も楽しみにしていただけ、8月のお休みはとても残念がられていました。

・地域の方を対象に「歌って脳トレ」を開催
リトミックでお世話になっている先生が音楽を使って脳トレを教えている話をお聞きしたのでボランティアで来ていただきました。
歌を歌いながら体を動かす中で間違えたり歌詞を忘れたりすることで、あちらこちらで笑いが起きて楽しいひと時を過ごしていただけました。子どもたちと地域の方との交流も生まれ、地域の方に児童センターの存在を知って、ボランティア等、関わりを持っていただく機会を創出することができました。

◎子どもたちの主体的な活動の場、話し合いの機会等の提供を行ったか。

・「子どもスタッフ」の結成(再掲③)
普段からボランティアをやりたいという子が一定数いるので、リーダー的な存在になるように、年間登録の「子どもスタッフ」を募集しました。毎月2回の活動日を設け、行事やお祭りの内容検討、その準備などを中心に子どもたちが主体となり自発的に活動できる場を設けました。お祭り時にはその子たちをバランスよく配置し、その上で一般に募集したボランティアを補充することでスムーズにコーナー遊びが展開されました。

・進行も子どもたちの「長森ショータイム」
毎月1回「長森ショータイム」(人前で何か披露する会)で、それぞれに得意なことや見てもらいたい事など、「今度は何をしようか」と友達同士で話をしている姿があります。司会も自分たちで行うことも定着し今学期はボランティアの方に似顔絵を描いていただくコーナーもできたのでその抽選方法も新たに進行として加わり、複数の司会者の場合は抽選もスムーズにできるよう事前に打ち合わせをしている姿も見られます。

・子供たちによる熱中症防止対策の放送(再掲③⑬)
夏休みに熱中症対策で水分補給の呼びかけ放送を子どもたちにやらないかと声をかけてみました。原稿は低学年でも読めるようにルビをふりました。水分補給を呼びかけるとともに、より身近な話に感じられるよう前日岐阜市で救急搬送された人数や熱中症対策のワンポイントなど8項目について用意しました。その中から読みたい部分を自由に選び放送してもらいました。当初は読むのは恥ずかしいから放送前後の鉄琴で「ピンポンパンポン」ならやってみようなど、その子のできることでの参加を大切に始めました。夏休み中で放送した子は12人ほど、夏休みが終わり9月になってからも放送は続き、参加メンバーも増えています。

そんな夏休みのある日によく放送してくれる2人の子がいつものように放送をして帰った後、公園で小学生と幼児2名で遊んでいた兄弟の異変に気がきすぐに濡れたタオルで首を冷やし児童センターに「熱中症になっている子がいる」と連れてきてくれました。その後保護者と連絡を取り迎えに来ていただき事なきを得ました。放送にかかわっていた子が実際に行動に移せたことは日頃の活動の成果であると思いました。

□利用者のニーズ、苦情、クレームへの着実な対応、運営への反映

・利用者アンケートでのご意見(再掲①③④)
利用者アンケートでのご意見をいただいた内容について、センターの運営に反映できるものはすぐに実行・改善しました。「家でも作れる遊びを教えてください」
→身近にある材料(トイレペーパーの芯など)を利用した遊びの提供を実施しました。「直接来ないと行事等への申し込みができない」→一部のイベント・行事は電話やLINEでの受付を開始しました。
また、実行できないものについてはその理由を説明し、ご理解をいただけるよう努めました。

・独自のアンケートから活かす(再掲①③④)
定期のアンケートや独自アンケートより出た内容の中から取り入れ可能なものを行事や購入しました。(ルービックキューブ購入・塗り絵の種類を10から15に増やす・コマができるようにする・カップスタッキング大会開催)

・利用者アンケートでのご意見(再掲①③④)
利用者アンケートでのご意見をいただいた内容について、センターの運営に反映できるものはすぐに実行・改善しました。「家でも作れる遊びを教えてください」
→身近にある材料(トイレペーパーの芯など)を利用した遊びの提供を実施しました。「直接来ないと行事等への申し込みができない」→一部のイベント・行事は電話やLINEでの受付を開始しました。
また、実行できないものについてはその理由を説明し、ご理解をいただけるよう努めました。

◎配慮を必要とする子どもへ適切な対応を行ったか。

- ・児童発達支援ディサービスからの団体利用(再掲④⑬)

4か所の児童発達支援ディサービスから上半期25回の利用がありました。今年度も車いすの幼児、中学生の利用がありました。車いすで部屋に入ることを一般の方にも理解をしていただき遊んでいただきました。座ることができないお子さんでおもちゃも限られてくるのでいくつか楽しめそうなものを提供したことで喜んでいただけお子さんの笑顔が見られ、引率の方からも喜ばれました。同じ施設から同日に午前午後違うお子さんを連れていらっしゃることもあります。施設の方と相談しながらおもちゃ選びや使える部屋などを一緒に考えています。

- ・子どもの居場所づくりの推進(再掲④⑬)

長森児童センターでは前年度から長森中学校学校と協力して「校内フリースペース」の一環として、児童館を不登校児童生徒の居場所としての活用をしていただいています。今学期は遊具で遊んでもらうことに加え幼児クラブでの手形作りの補助や多世代交流会で使用するプレゼントの準備など今までと違った活動内容を提供したことで新たな気持ちで来てくれる生徒の姿に先生から喜びの声をいただきました。そこで毎月の予定表を渡し参加可能な活動を選び無理をしないでその子のペースを大切に進めています。(上半期3回)

□利用促進や利用者増に繋がる方策の実施

- ・インスタグラムによる広報宣伝活動(再掲②⑥)

昨年度からタブレット端末を活用したインスタグラムを導入したことにより、多様な手段で幅広い年齢層に、スピーディーに情報を提供できることとなりました。上半期には、動画や音楽などを活用し、新たなアプリも導入しより親しみやすいインスタグラムを提供する様に努めました。(上半期投稿回数98回、内動画6件、487のいいね、フォロワー230人)

- ・「ツナグテ」利用者へのPR(再掲②⑥)

毎月発行するおたよりを「ツナグテ」のチラシ受けに置いていただき、「ツナグテ」の利用者にも長森児童センターのPRを行うことができました。

- ・全児童館・児童センターの案内をおたよりに掲載(再掲②⑥)

毎月発行している乳幼児と保護者向けおたよりの裏面に、岐阜市内すべての児童館・児童センターの所在地を地図上で記載しました。これにより、普段利用している児童館以外の児童館を知ってもらうきっかけとなりました。

- ・幼児クラブ申し込み連携

登録制幼児クラブで定員を上回る応募があり、残念ながら抽選に漏れてしまった方に対して、他館の幼児クラブに空きがある場合、幼児クラブを紹介できる体制を構築しました。

□管理経費削減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水、節電など)

- ・ボランティアによる樹木の剪定(再掲⑨⑭)

前年度より地域のボランティアの方による剪定や、草取りをしていただいています。中庭にある3本ヤマモモの木の剪定と草取りなど上半期4回来ていただけました。

- ・寄付物品・遊具の活用

利用者の方から使わなくなったおもちゃをいただきました。「小さいころにお世話になったから」「児童センターにも同じようなものがあったから」などとても状態の良いものをいただきました。(人形・ブロック・キャラクターものなど)

工作に使用するためトイレットペーパーの芯やラップの芯を集めています。わざわざそれだけを届けに来てくださる方もあります。工作等いろいろに活用しています。

- ・ふれあい花壇の活用(再掲⑤⑨)

岐阜市役所都市建設部が実施しているふれあい花壇団体に登録し、花壇に植える花を無償で提供していただき園庭に彩りを添えることができました。上半期は交流会に出席し植え方のコツ等の講習を受けてきました。参加したことで草花の肥料を頂きました。後日マリーゴールドベゴニア40株120株頂き、子ども達ともに植えました。

- ・経費削減に繋がる方策
- ・エアコンの設定温度は、子どもたちの熱中症対策・健康管理を優先しました。エアコンのフィルター清掃、不在時のオフを実施し効率的な運転に心がけました。
- ・使用していない部屋のこまめな消灯に努めました。
- ・当法人内の就労継続支援B型事業所による施設清掃を実施し支出を抑えました。(再掲⑨⑭)
- ・市の施設等の出前講座やボランティアを活用することで、講師料の大幅削減に努めた。
- ・(*岐阜市立図書館の「お話派遣ボランティア」*保健センターによる「健康講座骨密度」*岐阜県レクリエーション協会より「道具レンタル」・「レクリエーション指導者派遣」)

□職員の資質向上を図る研修の実施または研修会への参加(安定性安全性⑫)

職員研修の充実

- ・スキルアップ研修会
 - 絵本の読み聞かせ方(6/21西)、
 - おすすめのおもちゃ・ゲーム(7/3本郷)
- ・虐待防止研修会(5/24岐阜県警)
- ・発達障害の理解と支援(9/11エールぎふ)
- ・熱中症対策研修会(7/5)
- ・普通救命講習(6/12)
- ・新規採用者研修会(7/11)

※独自の取組み 保護者対象行事として(再掲⑫⑭)

- ・6月保健師による骨密度測定と生活の見直しについて

市の出前講座にて児童センター利用者、地域の方、老人会に声をかけて行いました。骨密度測定は保健センター等に行かないとできないので、そんな機会がない方、特に地域の方には喜ばれました。お母さん方も子育てに忙しく自分のことは二の次になりがちなので骨密度測定をして骨年齢を聞き、今の状態を知ることで今後の食生活など意識の改善につなげていただき10年20年後の自分の身体、丈夫な骨について考える機会にいただきました。

- ・6月子ども食堂を立ち上げた方による「子育てアドバイス」ミニ講演会

衣食住家計子どもの事を研究する会に長く在籍、5月に子ども食堂を立ち上げた方をお招きし、手抜きじゃない時短テクニックを上手に使い安くておいしいメニューを教えて頂くなど「子育てをしながらの家事」について話して頂きました。質問コーナーでは参加者一人ひとりがテーマを出し合いお互いの経験などを話しました。

今日すぐにとできること、使えること、便利な道具なども聞くことができて参加されたお母さん方皆さんが、「今日からやります」「もっと聞きたい」「次回は？」など次回の開催への期待の声が多くありました。

- ・9月：保護司による「笑って子育てしていますか」ミニ講演会

「笑って子育てしていますか」をテーマにお話していただきました。マイクを使用し窓を開放することで他の部屋で遊びながらでも聞いて頂ける様に工夫しました。失敗談を交えながら、今小さい時期だからこそやってほしい関わり方など(一人で抱え込まないで誰かに聞いてもらう・意識して口角を上げて笑うと気持ちもほぐれることもある。・子供の顔を見て大好きだよ、宝物だよ。)わかりやすく話して頂きました。

以上の3つの独自の講義を職員も一緒に聞くことで知識として学べたことを参加されていないお母さん方にも伝えていき少しでも子育てが楽しいにつなげていくように発信していきたいと思いました。

今期の取り組み
に対する評価

□リスク防止対策の実践(安定性安全性⑬)

・感染症対策オンライン研修会

当事業団すべての職員を対象にオンラインでの感染症対策の研究会での講義を聴き知識を得ることができました。

・虐待防止委員会

当事業団児童館・児童センター所長9名による虐待防止委員会児童部門を開催。各施設での事例を参考に虐待防止に向けた対応策について研究しました。

・虐待防止研修会(再掲⑫⑬)

虐待防止研修会を開催し、児童館児童センター職員として子どもの虐待防止に向けた適切な対応ができるよう取り組みました。

・電子メールの誤送信対策の徹底

長森児童センターでは、メールアドレスを他者に漏洩することがないように電子メールを使用して一斉配信をする際は、自動的にBCCに変換できるソフトを導入し、対策しています。

・子どもの居場所づくりの推進(再掲④⑬)

長森児童センターでは前年度から長森中学校学校と協力して「校内フリースペース」の一環として、児童館を不登校児童生徒の居場所としての活用をしていただいています。今学期は遊具で遊んでもらうことに加え幼児クラブでの手形作りの補助や多世代交流会で使用するプレゼントの準備など今までと違った活動内容を提供したことで新たな気持ちで来てくれる生徒の姿に先生から喜びの声をいただきました。そこで毎月の予定表を渡し参加可能な活動を選び無理をしないでその子のペースを大切に進めています。(上半期3回)

・児童発達支援ディサービスからの団体利用(再掲④⑬)

4か所の児童発達支援ディサービスから上半期25回の利用がありました。今年度も車いすの幼児、中学生の利用がありました。車いすで部屋に入ることをご一般の方にも理解をしていただき遊んでいただきました。座ることができないお子さんでもおもちゃも限られてくるのでいくつか楽しめそうなものを提供したことで喜んでいただけお子さんの笑顔が見られ、引率の方からも喜ばれました。同じ施設から同日に午前午後違うお子さんを連れていらっしゃることもあります。

施設の方と相談しながらおもちゃ選びや使える部屋などを一緒に考えています。

・子育て中のお母さんに寄り添ったミニ講演会(再掲⑬⑭)

衣食住家計子どもの事を研究する会に長く在籍、5月に子ども食堂を立ち上げた方をお招きし、手抜きじゃない時短テクニックを上手に使い安くておいしいメニューを教えて頂くなど「子育てをしながらの家事」について話して頂きました。質問コーナーでは参加者一人ひとりがテーマを出し合いお互いの経験などを話しました。「聞いたことを参考にして即やってみます。」「ぜひまた開催してほしいです。」などの声を頂きました。

・保護司をされている方に「笑って子育てしていますか」をテーマにミニ講演会

を行いました。マイクを使用し窓を開放することで他の部屋で遊びながらでも聞いて頂ける様に工夫しました。失敗談を交えながら、今小さい時期だからこそやってほしい関わり方などわかりやすく話して頂きました。

職員も一緒に参加することで知識として学べたことを参加されていないお母さん方にも伝えていき少しでも子育てが楽しいにつながっていくように発信していきたいと思いました。

・子ども110番の家の登録(再掲⑬⑮)

子どもが助けを求めた際、その子どもを保護し、必要により警察、学校、家庭などへ連絡するなど、地域ぐるみで子どもたちの安全を守るため、子ども110番の家に登録しています。

・大規模災害対策

これまで、飲料水や非常用菓子を大規模災害対策のため備蓄していましたが、これらに加え、新たにヘルメット・フリーズドライの食糧を備蓄しました。

□地元の諸団体との連携、交流(貢献性⑭)

・ボランティアのお願い

・長森中学校・富田学園と連携を取り行事のお手伝いをしていただいています。(上半期各校3回)

・主任児童委員主催の情報交流に参加(再掲②⑭)

・長森・日野地域の保育所・幼稚園・主任児童委員・担当保健師との情報交流会が4年ぶりに開催されました。そこで最近の乳幼児の様子、親からの相談など各施設の参加者からの話を聞くことができました。保健師からは岐阜市の出生率地区別の人口割合など今後の支援体制に参考になることが聞けました。児童センターからも、お話をさせていただく中でボランティアの募集についてのチラシと一緒に配布し、地域の方への広報を呼びかけました。

後日、チラシを見たボランティア希望の方が引き続き託児、見守りに来ていただける方があります。又、交流会で同席した幼稚園の先生に児童センターで、未就園児対象に遊びの提供して頂き交流しました。(上半期2回)

・長森中学生と乳幼児のふれあい開催

中学生3名(体調不良3名欠席)と乳幼児親子8組とで交流しました。初めに職員によるふれあい遊びをした後3つのグループに分かれて中学生が順番にグループを周り乳幼児と遊びながらお母さんと交流しました。どのグループも会話がはずみ予定時間45分が短く感じたようで1人の幼児さんも終了してしまったことに泣き崩れる姿を見て3人ともその後1時間ほど延長して遊んでくれました。感想文には、「今回参加したことでお母さんたちの思いや大変さを理解した」「大人になって子供ができたなら今回聞いたことなど思い出して育てていきたい」などを書いてくれました。迎えに来ていた保護者の方からも、「こんな機会は本当にありがたいです。次にあればまた参加させたい」と言っていただけました。

・岐阜県レクリエーション協会より、遊具借用

児童センターにはない高額なレクリエーション用具を借用して行事に活用しています。(上半期2回)

・岐阜市立中央図書館より派遣

お話派遣ボランティアの方に来ていただき紙芝居・絵本・エプロンシアター・パネルシアターを観させていただきました。参加された皆さんもメニューの多さに満足されたようでした。読み聞かせをする側としても参考にしたい部分もあり大変有意義な時間でした。

・保健師による骨密度測定と子育て相談

保健師の方に来ていただき、骨密度測定と子育て相談会を行いました。地域の方にも来ていただけるように公民館に案内すると共に老人クラブにも呼びかけました。当日は、地域の方や、老人クラブからも参加されて、おもちゃで遊ぶ小さな子に声をかけたりあやしたりと和やかな雰囲気で行えました。

・地元の団体・住民との協働事業等の実施

・親子ふれあい教室への開催協力(再掲⑭⑮)

長森北地区をはじめ、長森南・長森西・長森東・日野校区の親子ふれあい教室やのサポートなどや移動児童館として訪問し、職員による様々な遊びを体験していただきました。

・7月に長森北老人クラブのベタンククラブの方と一緒に行事を行う予定をしていましたが、気温予想が35度を超えるとのことと延期となりました。下半期に行う予定をしています。

・後期に向けて共同企画

野一色公園を管理しているSNKKホールディングスに野一色公園にてフリーマーケットを行う企画を去年提案しました。上半期6月に行う予定でしたが募集要項等を1から作ることで時間がかかり間に合わず、10月に延期をしました。受け付けは9月から10月にかけて行っています。

今期の取組み に対する評価	□地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用 ・当法人内の就労継続支援B型事業所による施設清掃を実施しました。(再掲⑨⑭) ・中部学院大学から1日ボランティア(職業訓練生)を受け入れました。隣の保育園にお祭りのコーナー遊びに小学生の子どもスタッフに同行し一緒に活動しました。 ・岐阜市の社会福祉士(障がい者)の施設見学を受け入れました。児童センターの仕事や、取り組みについてのお話をさせて頂きました。 ・子育て中のお母さんに寄り添ったミニ講演会(再掲⑬⑭) 衣食住家計子どもの事を研究する会に長く在籍、5月に子ども食堂を立ち上げた方をお招きし、手抜きじゃない時短テクニックを上手に使い安くておいしいメニューを教えて頂くなど「子育てをしながらの家事」について話して頂きました。質問コーナーでは参加者一人ひとりがテーマを出し合いお互いの経験などを話しました。「聞いたことを参考にして即やってみます。」「ぜひまた開催してほしいです。」などの声を頂きました。 保護司をされている方に「笑って子育てしていますか」をテーマにミニ講演会を行いました。マイクを使用し窓を開放することで他の部屋で遊びながらも聞いて頂ける様に工夫しました。失敗談を交えながら、今小さい時期だからこそやってほしい関わり方などわかりやすく話して頂きました。 職員も一緒に参加することで知識として学べたことを参加されていないお母さん方にも伝えていき少しでも子育てが楽しいにつながっていくように発信していきたいと思いました。 ・地域のボランティア ・昨年に続き地域の方でヤマモモの木の剪定や、草取りをしに来て頂きました。上半期4回来ていただけました。(再掲⑨⑭) ・ボランティアのお願いポスターを新たに公民館や野一色公園に掲示をお願いした所その案内を見て、幼児クラブ時の託児や、行事の手伝いに来て頂いています。(上半期6回) ・英語教室(ロビー先生のEnjoy English)(再掲③⑭) 前年度より計画を進めていた地域の方に紹介していただいた外国人ボランティアによる英語教室を毎月1回1時間(8月は休み9月は体調不良で上半期4回)で行いました。 紹介していただけた方が地域の方を数人誘い一緒に教室に参加しお手伝いしていただける日もあります。参加する小学生の保護者も仲間に入り、ゲーム形式が多く子どもたちと同じように楽しむ姿が見られ回を重ねるごとに保護者の方も楽しみにしていただき、8月のお休みはとても残念がられていました。 □地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)(貢献性⑮) ・資源分別回収の協力 長森中校区の資源分別の協力として段ボールや雑誌などを提供しています。(上半期1回) ・岐阜版アダプトプログラムへの参加 職員が児童館周辺道路の清掃活動を定期的実施する、岐阜版アダプトプログラムに参加しています。 清掃活動は、毎週木曜日の朝実施しています。 ・子ども110番の家の登録(再掲⑬⑮) 子どもが助けを求めた際、その子どもを保護し、必要により警察、学校、家庭などへ連絡するなど、地域ぐるみで子どもたちの安全を守るため、子ども110番の家に登録しています。 □地元の団体・住民との協働事業等の実施 ・親子ふれあい教室への開催協力(再掲⑭⑮) 長森北地区をはじめ、長森南・長森西・長森東地区の親子ふれあい教室やOBのクラブのサポートや活動の内容提供などや放課後児童クラブに移動児童館として訪問し、職員によるさまざまな遊びを体験していただきました。 ・岐阜市中地区交通安全協会長森北支部との連携 昨年度より交通安全協会長森北支部の「読み聞かせの会」をサポートしています。今年度は岐阜東高校生や長森中学の生徒にも呼び掛けて、絵本を読んでもらう機会を作り交通安全啓発活動に取り組んでいます。(7月・9月)
前回までの意見を 踏まえた取組み状況	□地域の方との更なる連携 →地域の方との連携が大きくなりつつあります、お互いに協力し合い地域を盛り上げていけるように努めます。 □母親クラブの充実 →メンバー減少により母親クラブから脱退されたサークルにも、変わらないサポートをすることでメンバーの方も安心されています。今まで通りサポートをして、様々な活動を通してお互いの親睦を深め、子育ての楽しさや面白さを感じてもらえる場となる様に努めます。 □小学生子どもスタッフの設立 →子どもボランティアを結成し、順調に活動できています。毎月定期的に活動をすることで一人ひとりが責任をもって取り組んでいる姿があります。
今後の取組み	□中学との連携を強化し「校内フリースペース」の充実に努め、参加したいと思えるようなメニューや活動を用意受け入れ態勢を整えていきます。 □小学生が乳幼児と遊ぶ機会を設けることで、赤ちゃんの愛らしさ、命の大切さなどを感じる機会を設けると同時に保護者にはわが子への愛情の再確認、我が子の成長をイメージする機会を設けます。 □子どもたちの意見を尊重し活動できる機会を増やします。

●所管課の意見

- 夏祭りの分散開催により混雑を解消したり、年間登録の「子どもスタッフ」を募集し、行事やお祭りの企画をしてもらう等、業務改善や新規事業に積極的に取り組んでいる。
- 近隣の中学校と連携し、児童センターをフリースペースとして利用し、幼児クラブのお手伝いにも参加してもらう等、子どもの居場所づくりに取り組んでいる。
- 地域ボランティアによる木の剪定や草取り、幼児クラブ時の託児、行事の手伝い等、児童センターの運営においても連携・交流を行っている。

●指定管理者評価委員会の意見

- 長森ショータイム等、子ども、一人一人が主役となるようなイベントが開催されており、評価できる。
- 子どもによる館内アナウンスなどで熱中症対策に取り組んでいる。
- 児童発達支援を担う団体からの利用が多く、隔てがない利用の確保に努めている。